

1. この方について、私たちは話すべきことをたくさん持っていますが、あなたがたの耳が鈍くなっているため、説明することが困難です。(5:11)
 - a. これまでヘブル書の著者は、大祭司としてのイエス、そしてなぜイエスがレビ的祭儀制度よりも優れているかという議論を展開してきた。
 - b. ここで著者はこの議論を中断し、信仰から離れること（専門的には背教）の警告を差しはさんでいる。
 - c. 信仰を失う原因となるものはいくつか考えられる。ヘブルの教会は耳が鈍くなったために信仰から離れる危険性があった。
 - d. 耳が鈍くなるというのはいくつかの要素の副産物だと言える。それは「私は何でも知っている」というプライドから来るかもしれない。あるいは怠慢によるかもしれない。Common English Bibleには「あなたは怠けていたので聞いていなかった」とある。NIVでは「あなたはもはや理解しようとしていない」と訳されている。
 - e. 耳が鈍くなると、理解したり受け入れたりしにくい事実というものが出てくる。あなたには神の声を聞く能力があることを知っていましたか？ イエスは「わたしの羊はわたしの声を聞き分けます」とおっしゃったが、「わたしの羊は私の書やいのちについてよく理解しています」とはおっしゃらなかった。
 - f. ヘブルのクリスチャンたちの耳が鈍くなったのは、激しい対立と、さらに偽教師たちが真理にのっとり痛み苦しみを覆い隠した教えを広めていたからであろう。真理に立ちイエスとともに歩むことは犠牲をとまなう。安い代価でイエスと歩めるという教えには注意しなければならない。

2. あなたがたは年数からすれば教師になっていなければならないにもかかわらず、神のことばの初歩をもう一度だれかに教えてもらう必要があるのです。あなたがたは堅い食物ではなく、乳を必要とするようになっています。まだ乳ばかり飲んでいるような者はみな、義の教えに通じてはいません。幼子なのです。(5:12-13)
 - a. これはすべての人に対して述べられているのではない。イエスを信じる信仰を持ち、しばらくの間主とともに歩んでいたにもかかわらず成長をしていない人たちに向けられている。
 - b. では神のことばの初歩とはなんだろうか？ 次のヘブル 6:1-2 にそのリストがある。それらは乳とみなされ、主にあって成長していく者はいずれは乳以外の食物が必要になる。ただし聖日礼拝を守ることは霊的成長のために非常に重要である。クリスチャンとして成熟するためには一週間に一度だけでなく毎日霊的食物を摂ることが必要である。
 - c. イエスの弟子となり神の子供となるためには自らの意思をもって成長することが不可欠である。一晩で、またはある時偶然に、あるいは時間が経てば自動的に成長する、というわけではない。

3. しかし、堅い食物はおとなの物であって、経験によって良い物と悪い物とを見分ける感覚を訓練された人たちの物です。(5:14)
 - a. 良い物と悪い物を見分ける感覚は訓練の繰り返しによって身に付けることができる。神は良い物と悪い物を見分けねばならない状況をあなたに与えるはずである。
 - b. 賢さを身に付け悪にだまされない者はキリストにあって成熟していくが、つねに悪にだまされてしまう者は霊的発育不良になってしまう。
 - c. キリストにあって成熟していくといずれは悪を識別し、悪と立ち向かわなくてはならない。悪はいろいろな形や状態でやってきて、その正体を隠し、決してこれは悪いものから来ているのだよ、とは言わずあなたを少しずつ別の道へと導き、しだいに感覚を鈍らせいつの日か完全に神から離れさせる。
 - d. 神はあなたが賢くなり、聞く耳を持ち、誠実に従うように望んでおられる。